



第421号<令和7年(2025年) 11月19日>
信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員
島崎 三步 の「**山岳通信**」

長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報を提供しています
<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

■先週(11/4～11/9)の山岳遭難発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
11/16 日	東筑摩郡 生坂村京ヶ倉	男	57	負傷	滑落	2人パーティで京ヶ倉山頂から下山中、 バランスを崩し、滑落、負傷

■山岳遭難発生状況～令和7年(2025年)1月1日～11月16日

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
R7 全体	350	48	5	168	163	384	221
R6 全体	311	48	3	139	148	338	190
前年同期比	+39	±0	+2	+29	+15	+46	+31
R7単独登山	127	27	4	46	50	127	77
R6単独登山	111	19	2	41	49	111	62
前年同期比	+16	+8	+2	+5	+1	+16	+15

* 遭難数は、昨年1年間(321件・350人)を大きく上回って推移しています。

■山域別発生状況～ 令和7年(2025年)1月1日～11月16日

区分		件数	件数 比率	死者	行方 不明	負傷者	無事救出	遭難者 計
北アルプス	槍穂高	68	19.4%	10	0	34	30	74
	後立山	87	24.9%	8	1	38	56	103
	その他	56	16.0%	1	0	36	25	62
	計	211	60.3%	19	1	108	111	239
中央アルプス		24	6.9%	6	1	10	9	26
南アルプス		11	3.1%	0	2	8	1	11
八ヶ岳連峰		36	10.3%	5	0	19	13	37
その他の山岳		68	19.4%	18	1	23	29	71
計		350		48	5	168	163	384

■態様別発生状況～ 令和 7 年(2025 年)1月1日～11 月 16 日

区分	件数	件数 比率	死者	行方 不明	負傷 者	無事 救出	遭難者計
転・滑落	94	26.9%	28	0	68	0	96
転倒	87	24.9%	1	0	86	0	87
病気	28	8.0%	8	0	0	20	28
道迷い	33	9.4%	0	0	0	50	50
落石	7	2.0%	0	0	7	0	7
雪崩	2	0.6%	1	0	1	1	3
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	57	16.3%	2	0	0	59	61
不明・他	42	12.0%	8	5	6	33	52
計	350		48	5	168	163	384

■男女別・年齢別発生状況 ～ 令和 7 年(2025 年)1月 1 日～11 月 16 日

区分	男性					(人)	女					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19 歳 以下	0	0	0	7	7	46 17.3%	0	0	1	0	1	18 15.4%	8	64 16.7%
20 代	1	0	4	18	23		0	0	1	5	6		29	
30 代	4	1	4	7	16		0	0	3	8	11		27	
40 代	5	1	13	14	33	85 32.0%	1	0	16	3	20	46 39.3%	53	132 34.4%
50 代	7	0	22	24	53		1	0	19	6	26		79	
60 代	9	2	31	26	68	135 50.8%	0	0	22	8	30	53 45.3%	98	188 49.0%
70 代 以上	20	1	18	28	67		0	0	14	9	23		90	
計	46	5	92	124	267		2	0	76	39	117		384	
比率	69.5%						30.5%							

県警 山岳安全対策課(救助部)からの**ワンポイントアドバイス**

先週、長野県内では、1件の山岳遭難が発生しました。

県内の中低山は晩秋となり、山域によっては積雪のため、ルートが凍結しているほか、落葉で登山道が不明瞭になっています。

このため、「踏み跡かな？」という箇所を漫然と歩いていると、思わぬ方向に迷い込んでしまうため、登山アプリや地図などで、慎重に居場所を確認することが重要です。

これからの時期は、グリーンシーズンと比べると登山者は非常に少なくなります。「他の登山者について行こう」「困ったら、他の登山者に道をたずねよう」「雪に踏み跡があるだろう」ということが、できない可能性があります。

警察では、行方不明者を捜索する場合、目撃者(同日程で登山をされた方)を捜しますが、登山者が少ない山域では、目撃者が全くいない場合もあります。単独登山の場合は、遭難者が「会社に出勤してこない」などの届出が、往々にしてあります。

行方不明者の遭難は、捜索の長期化などにより、家族に大きな精神的負担をかけるだけでなく、一家の大黒柱が遭難したとなれば、収入が得られなくなり、経済的にも大きな負担となります。**すでに、山は冬の厳しい自然環境となっています。夏と同じルートでも難易度、体力度が格段に上がりますので、慎重な計画と入念な準備をお願いします。**

【長野県で登山を計画している方へ！】

長野県の各山域は、本格的な冬山シーズンに移行し、標高の高い山域では積雪があります。冬山登山装備は『MUST(マスト)装備』です。**アイゼン、ピッケル、ビーコンのほか、服装や靴、手袋などは、冬山に対応したものを携行してください。冬山は、装備品一つで生死を分ける場合があります**ので、準備段階から慎重に！

【長野県山岳遭難防止対策協会からのお知らせ】

■北アルプス北部・南部常駐隊長インタビュー掲載されました！

11月5日ヤマップマガジンに掲載されたお二人のインタビュー、最前線の現場からの報告です。

■長野県山岳遭難防止常駐隊北アルプス北部地区の矢口 拓 隊長インタビュー

<https://yamap.com/magazine/67759>

■長野県山岳遭難防止常駐隊北アルプス南部地区の加島 博文 隊長インタビュー

<https://yamap.com/magazine/67778>

■山岳遭難防止につながる寄付を募集中

登山の楽しい思い出作りを陰から支える活動をご支援ください。長野県では長野県山岳遭難防止対策協会の活動等を通じ、登山者の安全確保に向けた啓発活動や遭難救助に取り組んでいます。信州の山岳を安全に楽しんでいただくため、全国の皆様の温かいご支援を心からお待ちしています。なお、1万円以上の寄付をしていただいた方には、「安全登山啓発カード」を差し上げます。

詳細は長野県HPで確認

<https://www.gachi-naga.jp/projects/4235/>

■登山計画書を作成・提出しましたか？

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/smartphone/tozankeikakusho.html>



①ゆとりある計画を立てて、登山計画書を提出してください！

②家族や知人にも必ず詳細な予定(行先)を伝えましょう！

※登山計画書を提出し、情報を共有しないと、入山場所や遭難地点の特定に時間がかかり、捜索活動が遅くなってしまいます。

※山小屋、地元自治体、観光協会等を通じて登山口までの道路や登山道の状態、残雪の状態など、現地の最新情報を事前に把握しておきましょう。

■ご活用ください！長野県の山岳関係の情報提供サイトです！

★山岳遭難救助隊から最新情報を発信中！ ⇒ 長野県警察 山岳遭難救助隊公式X

https://x.com/NAGANO_P.M.R/

★北アルプスの最新情報を発信中！ ⇒ 長野県山岳遭難防止常駐隊公式X

https://x.com/nagano_sotaikyo

★その山はあなたの実力に見合っていますか？ ⇒ 「信州 山のグレーディング」

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>

* 統計の内容は、長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光スポーツ部山岳高原観光課」までお寄せください。

mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝